

未経験者の採用・育成と協力会社とのパートナーシップ（県内森林組合事例）

（2024オープンカレッジ・プロジェクトシンポジウム発表事例から）

発表者＝R4年度「フォレストマネージャー研修」「事業管理者基礎研修」修了

未経験者の積極的な受入れ・育成

- ハローワークを通じて未経験者を採用しOJTと当カレッジ研修で育成（発表者の担当課では15名中14名が未経験で就業し主に造林を担う）
- 受講している研修は緑の雇用、森林作業道作設、高性能林業機械、スマート林業、育林ビジネス講座ほか
研修派遣 R4:6名、R5:13名、R6:17名
- 研修は、20代は知識の習得優先、30代は技術＋管理の目線、40代以上は現場作業員とリーダー(班長)の二つの方向で選択
- 未経験でも意見、提案を引き出す。ドローンの提案がありチャレンジさせた。

若い林業事業体をパートナーに

- 若い世代が主体の数社と一緒に仕事をするパートナーにしている。
- これらの会社には未経験者や林業の基礎を習得していない者もいるので、カレッジの研修を紹介し受講を促している。
- 起業を目指している若者をバックアップしている。

就業者の確保、事業量の拡大